

## 1. 重要な会計方針

## (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

① 満期保有目的の債券：取得原価法によっている。

② その他の有価証券：移動平均法による原価法によっている。

## (2) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込み方式によっている。

## 2. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次の通りである。(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	205,000,000	-	100,000,000	105,000,000
投資有価証券	600,000,000	100,000,000	-	700,000,000
小計	805,000,000	100,000,000	100,000,000	805,000,000
特定資産				
普通預金	7,187,561	5,071,745	7,187,561	5,071,745
定期預金	100,000,000	-	20,000,000	80,000,000
定期預金	1,800,000	-	300,000	1,500,000
小計	108,987,561	5,071,745	27,487,561	86,571,745
合計	913,987,561	105,071,745	127,487,561	891,571,745

## 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである。(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対 する額)
基本財産				
定期預金	105,000,000	(10,000,000)	(95,000,000)	-
投資有価証券	700,000,000	(0)	(700,000,000)	-
小計	805,000,000	(10,000,000)	(795,000,000)	-
特定資産				
普通預金	5,071,745	(0)	(5,071,745)	-
定期預金	80,000,000	(0)	(80,000,000)	-
定期預金	1,500,000	(1,500,000)	(0)	-
小計	86,571,745	(1,500,000)	(85,071,745)	-
合計	891,571,745	(11,500,000)	(880,071,745)	-

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時価 (注)	評価損益
第 15 回三菱フィナンシャルグループ無担保社債	100,000,000	98,260,000	△ 1,740,000
第 3 回大塚ホールディングス社債	100,000,000	99,020,000	△ 980,000
第 17 回みずほフィナンシャルグループ無担保社債	100,000,000	96,410,000	△ 3,590,000
第 19 回みずほフィナンシャルグループ無担保社債	100,000,000	96,340,000	△ 3,660,000
第 25 回みずほファイナンシャル・グループ劣後社債	100,000,000	97,310,000	△ 2,690,000
第 64 回日産自動車社債	100,000,000	100,170,000	170,000
第 26 回ルノー円貨社債	100,000,000	99,400,000	△ 600,000
合 計	700,000,000	686,910,000	△ 13,090,000

(注) 証券会社より入手した時価情報に基づいている。

### 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記に記載しているため附属明細書での記載を省略している。

2. 引当金の明細

該当なし。